

<No22：地図編集>

次のa～eの文は、地図投影法について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. 平面直角座標系（平成14年国土交通省告示第9号）におけるX軸は、座標系原点において子午線に一致する軸とし、真北に向かう値を正としている。
- b. 正角図法は、地球上と地図上との対応する点において、任意の2方向の夾（きょう）角が等しくなり、ごく狭い範囲での形状が相似となる図法である。
- c. 平面に描かれた地図において、正積の性質と正角の性質を同時に満足させることは理論上不可能である。
- d. ユニバーサル横メルカトル図法(UTM 図法)は、北緯 84° から南緯 80° の間の地域を緯度差 6° ずつの範囲に分割して投影している。
- e. 平面直角座標系に用いることが定められている地図投影法は、ランベルト正角円錐図法である。

- 1. a, b
- 2. a, e
- 3. b, c
- 4. c, d
- 5. d, e